

【地域共創研究部門 各研究プロジェクト研究目的、目標及び目標値】

プロジェクト名	研究目的	目標	検証可能な評価指標（目標値）
地域課題発掘プロジェクト	本プロジェクトでは、さいたま市及びその周辺地域の自治体、企業、市民など様々なステークホルダーとの対話を通して、首都圏のベットタウンとして今なお人口が増加している本地域特有の社会課題を見出し、ステークホルダーと共に 10 年後の本地域のあるべき姿を描き、そこからバックキャストにより、地域課題の解決に資するプロセス・手法・体制等を研究開発する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域自治体や地域企業等との議論、地域大学との連携・共同研究、シンポジウムなどをおした地域市民との対話を実施し、地域特有の社会課題を特定・可視化する。</li> <li>2. 特定・可視化された社会課題に対し、あるべき未来を描き、未来志向・バックキャストの下、埼玉大学の学術知と地域のステークホルダーの強みをベストミックスし、解決方策の具体化・提案を目指す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域連携機関との共同シンポジウム開催 1 回/年以上。</li> <li>2. 地域連携機関と共同した競争的資金申請 1 件/年以上。</li> </ol>
高齢社会変革技術開発プロジェクト	本プロジェクトでは、人口流入が続く本地域において 2040 年以降、急速に高齢者人口が増加するという地域特有の課題に対して、高齢期に入ってもイキイキと活躍できる地域を目指し、身体的・精神的・社会的観点から、大学の持つ研究成果を基にした研究開発を推進するとともに、高齢社会における高齢者の働き方を変革する社会システムの在り方を研究する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢期に入ってもイキイキと活躍できる地域社会の実現を目指し、地域の自治体・企業・大学等との連携の下、研究成果を基にした研究開発課題を設定する。</li> <li>2. 設定された研究開発課題に、身体的、精神的、または社会的観点から取り組み、新規の学術的成果の創出と、高齢者の働き方の変革に資するシステムの開発を目指す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の連携大学との共同研究 2 件/年以上。</li> </ol>